筑西から全国へ―　下館一高・下館二高　俳句・短歌三大会出場記念

17音、31音。心を重ねて今を詠む。

この夏、筑西市の県立高校2校が文芸の全国舞台で輝かしい足跡を刻みました。下館一高（筑西市下中山）は高校文芸の二大聖地「全国高等学校俳句選手権大会（俳句甲子園）」と「全国高校生短歌大会（短歌甲子園）」へ17年ぶりにダブル出場。下館二高（同岡芹）は短歌甲子園と「高校生万葉短歌バトル」に同時出場し、万葉短歌バトルでは全国優勝の栄冠に輝きました。国内屈指の舞台で感性を研ぎ澄ませた高校生たちの作品と、句歌に込めた思いを紹介します。



俳句甲子園 ■お題「玉蜀黍（とうもろこし）」

手榴弾（しゅりゅうだん）
なんてとうもろこしに
してしまえ

短歌甲子園

唐突に
髪を切りたくなりました
蜘蛛（く も）を優しく逃がしてあげる

短歌甲子園 ■お題「透」

みな同じ笑顔を
いちごに浮かべつつ
イブの夜のガラスの透過率

万葉短歌バトル ■お題「野」

本当は
悲しいのかも知れなくて
あなたの髪が野に靡（なび）いている

作品に込めた思い

下館一高　谷島 希明さん

図書室で戦争の本を見たとき、黒く無骨な手榴弾（しゅりゅうだん）と、美味しく人を幸せにする黄色いトウモロコシの、粒が詰まった様子が似ていると感じて反戦の思いを込めました。定型に収まりきらないフレーズに感情の強さを、ひらがな表記で柔らかさを表現しています。大会のディベートで強豪校の深い鑑賞に触れ、ただ弱点を指摘し合うのではなく、相手の良さを見つける向き合い方をしていこうと話し合っています。

下館一高　小林 澪央さん

当時は髪を切りたい思いが強く、その行為自体が自傷衝動に似ていると感じました。自分を傷つけるような欲求がある時ほど、普段なら払ってしまう蜘蛛（く も）のような小さな存在に逆に優しい気持ちになれる。その矛盾したアンバランスさが学生らしさだと思います。日常で心に触れたことを歌にするのは自己表現で人とつながるツール。ぜいたくに言葉を使える短歌だからこそ、この不思議な世界観を表現できました。

下館二高　菊池 亜衣音さん

題の「透」が持つ美しさやはかなさを表現しようと、記憶にあるガラス張りの洋菓子店を選びました。「透過率」という言葉には、単純な「透ける」では出せなかった、空間や笑顔がいかに澄んでいたかという美しさを込めています。大人になると見過ごしがちな日常の尊さは、高校生の今だからこそ気づけるもの。そんなワンシーンを残せる短歌は、人生の思考や思い出を刻む最高のツールです。

下館二高　坂入 美那さん

短歌の世界なら、ありのままの想いを受け止めてもらえると信じて挑戦した一首です。どれほど近くにいても相手の全てを知ることはできないもどかしさを、比喩を使わず「悲しい」と言葉にしました。人を愛することは等しく尊いもの。普段は隠しがちな本心も包み込む短歌を通じて、自分の想いを誰かと共有し、心を通わせたい。読む人の心が少しでも軽くなり、穏やかな日々が続くことを願っています。

各校の紹介

下館第一高等学校

筑西市下中山590 【創立】1923（大正12）年4月

■第29回全国高等学校俳句選手権大会出場（14回目・愛媛県松山市）
■第21回全国高校生短歌大会出場（2年連続13回目・岩手県盛岡市）



それぞれの個性を尊重し、のびのびと活動しています。今年は2年生3人が短歌甲子園、1年生、2年生が共に俳句甲子園に出場しました。周囲から「仲が良いチーム」と称される通り、先輩後輩の垣根なく作品を鑑賞し合い、日々切磋琢磨（せっさたくま）しています。何より「楽しむ」ことを第一としており、勝っても負けても「楽しかった」と笑い合える、挑戦し続けられることが私たちの良さです。来年は全国でもさらによい結果を残せるよう、部員一同精進してまいります。

下館第二高等学校

筑西市岡芹1-37 【創立】1900（明治33）年4月

■第21回全国高校生短歌大会出場（2年連続4回目・岩手県盛岡市）
■第11回高校生万葉短歌バトルin高岡出場（初出場・富山県高岡市）



「穏やかな個性派ぞろい」の部員が、毎週の短歌創作や外部講師による指導を通じ、熱心に活動しています。大会に向けては、技術の学び直しや他校の検証だけでなく、自身の作品が生まれるまでの心の動きにも真摯（しんし）に向き合ってきました。現在は部内に同じ目標へまい進する雰囲気ができており、今後はさらなるレベルアップを図りながら、万葉短歌バトルや短歌甲子園など各地の大会へ挑戦していきます。また、これまで創作した多くの作品を、部誌として残していきたいです。

関彰商事は若者の学びと挑戦を応援しています

SEKISHO GROUP 関彰商事株式会社
下館本社／〒308-8512 茨城県筑西市一本松1755-2 0296-24-3121
つくば本社／〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1-23-6 029-860-5151
セキショウ
www.sekisho.co.jp